



Millennium  
Photo Gallery

# 生命に よせて

PHOTO by Michio Hoshino

日々の暮らしの中では、大自然の営みを肌で感じることは難しい。しかし、その雄大さを感じる瞬間に出会ったとき、ひとはその存在に敬意を抱く。

いにしえより流れる時間は、ここにも、はるか彼方の海原にも平等に流れている。われわれもクジラも、この地球に暮らし、この地球に生かされているのだ。

日々の暮らしに追われている時、

もうひとつの別の時間が流れている。

それを悠久の自然と言っても良いだろう。

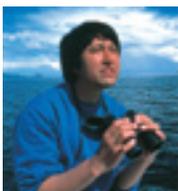
そのことを知ることができたなら、

いや想像でも心の片隅に意識することができたなら、

それは生きてゆくうえで

ひとつの力になるような気がするのだ。

※「長い旅の途上」星野道夫著 文藝春秋（刊）より抜粋



**星野道夫**：1952年、千葉県市川市に生まれる。慶応義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏の助手を経て、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。アラスカに移住しその自然と人びとを追い続け、「National Geographic」、「Audubon」など海外の著名雑誌にも作品を発表。写真展も数多く開催される。1996年、取材先のカムチャツカ半島クリル湖畔でヒグマの事故により急逝。

**【星野道夫写真集発売のお知らせ】**「写真家が一冊の本をつくるために生きているのなら、僕の場合はこの一冊に違いない」星野道夫はカリブー撮影時の日誌にこんな言葉を残していました。星野道夫にとって最大の撮影テーマであったカリブー。没後13年を経て、カリブーの写真集が新潮社から発売されます。『CARIBOU カリブー 極北の旅人』／新潮社／3,990円（税込）／発売予定日 2009年8月25日